

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①社会に出て活用できる基礎、基本的な学力(確かな学力)を身に付けるためのきめ細かい学習指導を行う。 ②本校の育てたい生徒像の実現に向けた特色のある教育課程を編成していく。	①基本的な学力向上を目指し「わかる授業」の取組を行う。地域探究をベースに主体的な探究活動を進める。一人一台端末の導入に対応した、ICTの授業への積極的な活用を実践する。 ②新教育課程について検証し、今後の方向性について検討する。	①生徒による授業評価等を活用して、生徒の状況を把握し、生徒のニーズに合った学習活動を行う。 ②増加単位等を活用した選択科目について、生徒の多様な進路実現が図れるような授業展開を研究し、実践する。	①一人一台端末を活用した活動を行うことができたか。 ②新教育課程の、今後の方向性について検討することができたか。
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	①モラル・マナー・ルールを遵守する心を育成し、高校生として良識ある行動ができるように規範意識を高める。 ②コミュニケーション能力を育成するとともに、様々な生徒がそれぞれの得意分野で主人公となって学校生活や学校行事に取り組めるような支援体制の充実を図る。	①服装指導、頭髪指導を中心に全職員で連携した指導体制の充実を図る。 ①交通安全の意識を高めるべく、バイク通学等に係る交通安全教育の充実を図る。 ②生徒会活動の促進を図り、生徒のコミュニケーション能力及び行動力を育成する。 ②生徒の自主性を尊重し、教職員が共通理解を持って支援できる体制をつくっていく。	①生徒・保護者に対して指導の徹底を周知するとともに、日頃から職員で連携して指導に当たることを徹底する。 ①定期的なバイクの安全点検や講習会を通える安全への意識を高める。 ②生徒会、委員会、部活動等様々な場面において生徒に意見を発表させていく。 ②生徒の意見を実現できる方策を教職員が共通理解を持って考えていく。	①頭髪指導の成果を認めることが出来たか。制服着用の徹底が出来たか。 ①安全点検や講習会が効果的に出来たか。 ②生徒から自主的な意見を引き出すことができたか。 ②生徒から出た意見をもとに、教職員がその方策の実施に向けて、検討・作成等を考えることができたか。
3	進路指導・支援	①一人ひとりの進路実現に向けて、職業観や勤労観を育成できるよう、計画的かつ継続した指導体制及び支援体制の充実を図る。 ②福祉科においては、介護福祉士養成を主とした福祉教育の充実を図る。	①自らのキャリアプランを築くため、自己実現の場を見出し、社会貢献への意欲を醸成する、系統的な指導や支援の充実を図る。 ②地域福祉のリーダーとして活躍できる福祉人材を育成する。	①的確な情報や助言を提供する進路説明会等を企画・実施する。 ①「地域探究」の活動を通して、地域の課題解決に取り組み、地域に対する理解を深め、進路実現につなげられるように支援する。 ②福祉の学びを生かし、地域の行事に積極的に参加する。 ②地域施設での実習及び専門的なカリキュラムを通して福祉職の対する職業観を育み、介護福祉士養成の充実を図る。	①地域資源を有効活用した的確な情報や助言を提供する進路説明会を実施することができたか。 ①進路未定の卒業生の人数を前年度より減少させることができたか。 ②生徒が中心となり、地域行事に参加することができたか。 ②実習や学習を通して、介護福祉士の合格率全国平均を上回ることができたか。
4	地域等との協働	①地域の中の高校として、本校を含めた地域の活性化を図るとともに、地域に貢献できる人材育成を推進していく。 ②学校の情報を積極的に発信し、家庭や地域社会から理解され愛される学校づくりを推進する。	①地域の探究活動に生徒が主体的に取り組めるよう支援体制を整え、指導と評価の一体化を進める。 ②PTA活動を通して家庭との連携を図り、学校情報の積極的な共有ができる。	①探究活動に対してルーブリック評価を導入し、指導と評価の一体化を図る。 ②生徒活動や行事にPTAの積極的な参加を促し、学校理解を深めていく。	①ルーブリックを使用した指導と評価を実施することができたか。 ②PTA広報誌の発行やHP掲載など多くの家庭に情報発信することができたか。 ②学校行事にも役割を持って参加していただく機会がもてたか。
5	学校管理 学校運営	①働き方改革を推進し、生徒と教員が相互に関わる時間の確保を行う。 ②防災意識を高め、自分のいのちは自分で守る防災教育の充実を図る。	①ICT機器の整備活用を進め、職員間の情報共有や校務のICT化をさらに推進する。 ②地域探究を視野に入れた防災教育の充実をさらに図っていく。	①職員間の連絡や校務に利用するICT機器やソフトウェアの整備を一層進める。 ②避難訓練やDIGの活用を通して、より実践的な訓練に取り組む。	①職員の働き方改革の一層の推進のため、勤務整理簿のデータ化、機械警備の設定される時間前の退勤など進めることができたか。 ②防災LHRの充実や地域の特性に合った訓練等を実施し、職員や生徒の防災に対する意識が高まったか。